

私は群馬県みなかみ町の高日向地区に訪れた。高日向地区には上牧駅から車で5分、水上駅からは車で10分。また、湯原温泉街では無料でレンタサイクルを行っているため、自転車ではみなかみ駅から20分ほどで訪れることができる。

去年地域インターンの会でみなかみ町を訪れた際、お世話になった石坂さんから今年のインターンでは一デニングカフェを開きたいという方がいるからそのお手伝いをしようと思っているというお話を聞き、私もその活動に参加したいと思い、去年に引き続きみなかみ町を研修先に選んだ。みなかみの方はとても明るく、フレンドリーでお話が好きな方が多いので、人の集う場となるカフェを開くことはいい案だと私は感じた。

8月の研修に入る前に、7月にインターン生に混じり、私は庭の視察を兼ねてみなかみを訪れた。初めてみた庭は緑が豊富であり、敷地が広大であり、SLや山々を庭から眺めることが出来る場所で立地はいいものの、広大な敷地はほとんど整備されておらず、そのため歩きづらかったり、色味が少なく寂しい印象を受けたり、手入れされている植物と雑草の区別があまりついていない庭だと感じた。



視察後、研修が始まる前にどのような庭にするのかのマスタープランを立てる為、色々なオープンガーデンについて調べたものの、他とは同じじゃつまらないと思い、みなかみにしかできないこと、わたしたちにしかできないこととはなにかを考えた。そこで視察に訪れた際私が一番心惹かれた使えなくなった1輪車を花壇に見立てていた事を思い出し「再利用」に重点を置いてみてはどうかと考えた。

そして、研修開始。1日目は2週間お世話になる宿舎の掃除から始めた。宿舎は蜘蛛の巣がところどころにあり、掃除は大変だったものの、5人で生活するには十分の広さであり、キッチンもトイレも設備されており、道の駅の中にあるため、人通りも多く、公衆トイレと交番が隣にあり立地もよく、2週間過ごすにはとても満足のいく宿舎であった。その後、去年お世話になった方、そして今年お世話になる方、近所の方に挨拶廻りに行き、その日は雨が降っていた為、視察から考えていたことをメンバーで話し合い、まとめる作業を行い、1日を終えた。

2日目もあいにくの雨だったため、庭のオーナーさんに自分たちで話し合ったことを伝える為、イメージを文章化する作業を行った。どれが可能でどれが不可能なのか、どうやって伝えるべきなのか考えるのにとっても手こずってしまった通路を作る、アーチを使う、写

真スポットを使うなどの意見が 1 日目では出たが、その単品だけを考えていては完成しない。全体像をまず考えなければならないのだ。そこで私たちはまずコンセプトを決め、そこから現状の問題点、解決法、そして自分たちからの提案を文章化した。私たちはコンセプトを「みなかみらしさを感じさせる気持ちのよいガーデン」に決めた。みなかみは資源が豊富であり、敷地の所有者の家にも大量の丸太が置いてあることから既存の資源を利用してベンチやアーチや通路等を制作することでみなかみらしさを出そうと考えた。その文章化したものをオーナーに見せ、メンバーとオーナーで話し合いを開始した。やはりオーナーさんと私たちの考えには大きな差があり、私たちの考えた最初の案は没になってしまったものが多かった。

3 日目はオーナーさんに理想図を書いていただき、そこから自分たちの案を加えつつ、今の状態と完成図を図面化していった。この日は去年のインターンメンバーと再会し、親睦会を開いた。そこではみなかみ市役所の役員さんや、様々なまちづくりに携わっている吉田道郎さんにも来て頂き、みなかみのまちづくりについて色々と学ぶことができた。来年はみなかみ町が合併して 10 周年記念なので、イベントをやるらしく、また楽しみが増えた。



4 日目は午前中にみなかみの町長さんと会談を行った。その為 3 日目に作成した図面を人に伝える為の図面へと書き換え、それを持っていき、今年の活動を町長さんへ伝えさせていただいた。町長さんにもガーデニングカフェには賛成して頂き、新たな観光地につながる取組にしてほしいという言葉を受けたので、やりがいのある取組をやっているのだなど実感させられた。去年に引き続きみんなで集合写真も撮りました。



午後は、OGの方と別れついに実践へ。やはり一番初めは草むしりから。まずは、道路に面している斜面から手を付け始めた。草むしりもほぼ初体験。道具をどう使うのか、どう抜けばいいのかさえ分からなかった。半日をかけ、蜂やみみず等の虫と戦いつつ、無事終了することができた。

Before

After



その日はインターンの会の事務局の方が視察に来て、夜は自分たちの宿舎で、手巻き寿司パーティーを行うことにした。そこにも去年お世話になった方やご近所の方に来ていただき、自分たちの活動を共有しつつ、濃い時間を過ごすことができた。

5日目からはついに庭の改善を。やはりここでも雑草取りと庭においてある木材の除去から始めた。私たちの行っているこのガーデニング活動は5年を目標に完成を目指しているため、今年は入口から改善していくことにした。その為、まずは入口の歩道の改善から。元からあった歩道を除去し、草むしりをして、何も無い土のみの通路へと戻した。その後、入口の付近にある空間を休憩スペースにする為、その草むしりも行った。

6日目の午前には沢へ歩道に使う石を取りに行った。歩道に使う石の為、大きく重たい物ば

かりで運ぶのも難しく、なんといってもアブが多かった為、とても苦勞した。なんとか歩道が作れるほどの石を集めることができたので、活動場所へと戻り、休憩スペース作り組と石畳組に分かれ活動を行った。私は草むしりをした場所の土を耕し、砂で平らに整え、レンガを敷き詰め、無事休憩スペースを完成させることができた。

①



②



③



またこの日はBBQをしたので、少しだけ疲れを癒すことができた。

7日目はあいにくの雨だった為ガーデニング活動ができず、入口にアーチがあるので何を飾るか、何を書くか、材料はどうするのかなどアイデアを出し合い、アーチのイメージを全員で統一させることができた。夜はみなかみの花火大会へ行かせていただいた。こんなにも間近で花火をみる機会がなかったのでとても感動し、今までの疲れが吹き飛んだようにも感じた。

8日目は引き続き石畳の作成を行った。この日みなかみに来て初めて猿を目撃した。オーナーさん曰く、畑にある野菜は猿に食べられてしまうそうだ。一匹罠に引っかかった猿がいて、その猿を助けようと他の猿がたくさんおり、とても迫力があり、少し怖さも感じた。

9日目は6日目に完成した休憩スペースが少し狭かったため、レンガを増やし、デザインも変え、敷地を有効に使った休憩スペースを完成させることができた。



高圧洗浄機を使い、土の汚れを落とし、石畳も無事完成した。

Before

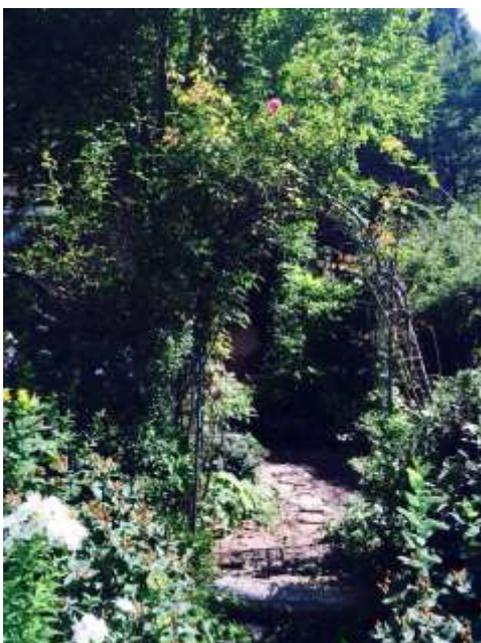


After



10・11日目では入口の看板兼アーチづくりを行った。自分たちで木を切り、文字を書き、穴を空け完成させた。看板として「一期一会」という言葉をアーチに飾ることにした。調べたところ、一期一会には「あなたとこうして出会っているこの時間は、二度と巡っては来ないたった一度きりのものです。だから、この一瞬を大切に思い、今出来る最高のおもてなしをしましょう。」という意味があるそうだ。現在は一期一会の下には「Welcome」という言葉を飾っているが、ガーデニングが完全に完成したら一期一会の下に私は「あなたに最高のおもてなしを」という言葉を飾りたいと考えている。一期一会の意味を来る人に知ってもらいたいからである。またアーチの柱の部分にはこのガーデニングに関わったすべての人の似顔絵を飾りたいと考えており、今の段階では、メンバーとオーナーさんとその家族、お手伝いに来てくれた近所のれんくん、そして石坂さんを飾っている。

Before



After



そして、4日目にきれいに整えた斜面にスイセンの球根を植えたので、次回訪れた時に、きれいな花が咲き誇った新たな斜面を見ることができたらいいなと思った。空いている敷地に自分たちの畑を作らせて頂き、冬に来た時にちょうど収穫時期である大根・かぶ・白菜を植えさせてもらった。



そしてガーデニング活動最終日。予定していた活動を早めに終える事が出来たので、手を付けられないと諦めていた小川の整備を行うことにした。ここもまずは草むしりから。そして覆いかぶさった枝を伐採しすっきりとしたきれいな小川を完成させることができた。

Before



After



13・14日目はみなかみ観光の時間を頂いた。13日の午前はラフティングをしに、利根川上流へ。ラフティングは去年初体験し、ずっと楽しみにしていたものであった。この2週間雨が多かったため、水も多く、去年より漫喫することができた。午後はBBQを。活動が終わった解放感からか疲れがどっときた様にも感じた。

そして14日目。

午前は宿舎の掃除を行い、午後はたくみの里という体験施設へ連れてっていただき、お世

話になった方々へ記念品作りを行った。2組に分かれ、感謝の気持ちを込め、キャンドルの置物と、ドライフラワーで写真立てを作った。



最後にお世話になった方々へ挨拶回りにいき、すべての活動が終了した。

私は去年もみなかみで活動を行っているため、今年の活動ではどうしても引っ張っていく立場になり、戸惑うことも多かったが、自分から行動を起こしていかなければ何事も始まらないことを学ぶことができたし、なんとといっても大学で学んだツーリズムの例であるフラワーツーリズムの実践を行うことが出来たのはとてもいい経験となり、自分自身とても成長することができた。今年だけではまだ「居心地が良い」とは言いがたいが、その第一歩を踏み出すことができたと今は自信をもって言うことができる。今年あまり温泉街とは関わることができなかったが、今回活動を行ったガーデニングが新たな観光地になり、みなかみ全体に人が増え、温泉街の活性化にもつながってほしいなと感じた。この活動は今年だけのものではないので、今後もみなかみ町に携わり、自分の学んだことを実践に移せるチャンスを十分に生かしていきたいと思う。